

まつなみリサーチパーク

【人員体制】

所長 1 名、常勤研究員 3 名、非常勤研究員 1 名、顧問 1 名、事務局 2 名

【概要】

まつなみリサーチパークでは、「医療の質を維持しつつ、医療費の削減・適正化」を目標に掲げ、日本の医療費を圧迫している要因に対して、具体的な解消案（新しいアイデアによる時代に即した医療）を提案しております。

【2018 年度の取り組み】

①肥満症、糖尿病治療に関する研究

内臓脂肪型肥満に起因する生活習慣病患者・予備群が増加している問題を解決する為、2017 年 4 月 1 日より国立大学法人東京大学に社会連携講座「肥満メタボリックケア講座」を開設し、RIZAP 株式会社と共同で肥満症・糖尿病の治療法について研究を行っております。今年度は、中国の国際特許を取得いたしました。

②新しい採血検査器具の開発

安全に、安価に、採血・検査できるデバイスの開発を企業と共同で進めております。今年度は、米国の国際特許を取得いたしました。

③新たな緊急用医薬品の開発

体調の急変時を想定し、企業と共同で医薬品の開発研究を行っております。

④地域における在宅医療推進に関する活動

在宅医療が抱える問題を解決する為、安心して安全に在宅医療が可能となる、「マイドクターコール®」を内蔵したウェアラブルな生体情報測定・発信装置を用いた「在宅医療支援システム」（「いつでもウォッチ®」）の構築を進めております。今年度は、装置の医療機器認証（「クラスⅡ」）を取得いたしました。また実証実験を病院・施設内の患者さんだけでなく、在宅患者さんにも行いました。実証実験から得られた結果より、問題点を検証し、よりよい製品の開発を進めております。

⑤地域における包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築

今までに「経済産業省健康寿命延伸産業創出推進事業」「総務省クラウド型 EHR 高度化事業」として、各病院・開業医・自治体等がそれ

ぞれに保有している個人の健康情報に関するデータ（家族歴、既往歴、社会的背景、身体計測データ、採血データ、所見、投薬歴等）を事務局のパソコンに集約し、経時的に記録し、一括管理するための「包括的個人健康情報管理記録システム（Comprehensive Personal Health Record (C-PHR)）」を作成し、さらにこれを発展させ、通常の医療・介護に必要な最低限の情報（採血等の検査結果・処方箋歴・病名）を病院・開業医・歯科医院・薬局・介護事業所等が共有し、クラウド上で管理するシステム（画像等の重いデータは排除し、軽いデータが簡便に共有できる「擬似患者情報共有システム」）を構築しました（Trans Gifu Partnership for sharing medical database (TGP) ネットワーク）。今年度は医療、介護、福祉に係るあらゆる職種・施設での双方向の情報共有化を進めました。また、利用者の拡大にも努めました。

⑥先制医療に関する研究

健診者のご協力によって得られた健康情報（健診・食・薬・ストレス等のデータ）と血清サンプルを経時的に保管しデータベース化することを一般社団法人健康科学リソースセンター（RECHS）と共同で行っております。2019 年 3 月 31 日迄に 3,559 名（延数：9,470 名）の方にご協力いただいております。これを用いて病気の一次予防や早期診断の研究に役立てます。

【2018 年度実績】

<特許取得>

国際

「体液採取デバイスおよび検査デバイス」

・米国特許を取得 2018 年 4 月 10 日
（特許第 US9936911B2 号）

「医療用器具」

・中国特許を取得 2018 年 5 月 4 日
（特許第 ZL201580017130.9 号）

<その他>

・「平成 30 年度岐阜県在宅医療連携システム実証実験事業」採択

・「平成 30 年度岐阜県医師会勤務医部会調査・研究」採択

〔文責：吉川智美〕